

学習の準備

筆箱の中

- ① 鉛筆5本（B，2B） シャープペンやロケット鉛筆は不可。
遊び道具になるような鉛筆は不可。
鉛筆を持ったときに、指の股からでない短い鉛筆は不可。
 - ② 赤鉛筆又は赤ボールペン（ボールペンは5年生以上）
 - ③ ネームペン
 - ④ 消しゴム（遊び道具になるような消しゴムは不可。）
 - ⑤ ものさし（15cm程度で透明なもの。2つ折りのものは不可。）
- ※筆記用具は、シンプルな方が望ましい。

- ・全て記名させ、不要な物を入れないよう指導する。（鉛筆ホルダーなど）
- ・持ち物が整わない児童は、保護者に連絡をして協力をお願いします。
- ・次の授業の準備をしてから休憩をする。
- ・授業中、机の上には教科書，ノート，下敷き，鉛筆1～2本，赤鉛筆（赤ボールペン），消しゴム，ものさしのみを出し，筆箱は机の中にしまう。
- ・筆箱の中身については，4月当初の学年通信にて保護者へ伝え，児童へ指導する。

<授業準備>



※上から教科書，ノート，下敷きの順に重ねる。

<授業中>



※左利きの児童は，上記とは逆になる。

<鉛筆の長さ ○>



<鉛筆の長さ ×>



学習の始めと終わりのあいさつ

- ・休憩後，チャイムが鳴る前には自分の席に着いておく。日直は前に出る。
- ・チャイムが鳴り始めると同時に，日直が号令をかける。

<授業始めの号令のかけ方>

日直：「起立。」「立腰。」（立腰をする。）

日直：「黙想。」（目を閉じる。30秒を目安。）

教師：「黙想，止め。」（目を開ける。）

日直：「これから〇時間目の〇〇の勉強をはじめます。」

皆：「はい。」

日直：「礼。」「お願いします。」

皆：「お願いします。」（1・2・3・4のタイミングで礼をする。頭を上げたとき，日直や教師と目を合わせる。）

日直：「着席。」

<授業終わりの号令のかけ方>

日直：「起立。」「立腰。」（立腰をする。）

「これで〇時間目の〇〇の勉強をおわります。」

皆：「はい。」

日直：「礼。」「ありがとうございました。」

皆：「ありがとうございました。」（1・2・3・4のタイミングで礼をする。頭を上げたとき，日直や教師と目を合わせる。）

日直：「着席。次の授業の準備をしましょう。」

<その他>

- ・授業中も「立腰」を意識させる。

座り方について，細かなところまで意識できることが，学習力を伸ばします。



教室掲示

- 教室の前面は、児童が常に目にする場所であるので、心を落ち着かせて授業をするために、すっきりとした掲示にする。
- 黒板上部には、中央に学校教育目標 右側に学年目標を掲示する。
- 児童が集中して板書を活用できるように、黒板には、大量の磁石やプリントを貼ったままにせず、整理・整頓しておく。
- 黒板下は、チョークの粉が溜まりやすいので、毎日掃除を行い、荷物等を置かない。



児童にとって、学校生活を送りやすくなる掲示物については、黒板の両サイドに、整理して掲示する。



低学年は、黒板の下に踏み台を置いている。それ以外の物は、黒板下には置かない。

教室環境



○机の横（通路側）に物をかけない。



- 物の引っ掛かりによる転倒防止
- 机周りの整理整頓



○道具の向きをそろえて片付ける。



- 絵具道具などの紐の引っ掛かりによる転倒防止
- 共有スペースの整理整頓



○水筒の紐は、くるくると巻いて片付ける。



- 水筒の紐同士が絡むことによる転倒や破損防止
- 水筒箱の整理整頓

×

○



○ロッカーからひもを出さない



- 物の引っ掛かりによる転倒防止
- 自分のロッカーの整理整頓（体操服は、学校にいる間は、ランドセルの中に入れておく）